

## 文化植民地建設に就て

伯國に於て或は會社或は個人經營の下に幾多の同胞植民地が建設されました。而も遺憾ながら一として同胞近代の要求に適應した文化的植民地の建設を發見することが出来ません。一の地域を一箇の意義ある有機體として、これを綜合し統一したる植民地がありません。實際今日迄の在伯同胞植民地は餘りに土地ブローカーに禍せられました。植民者の素質に於ても永住的な決心を缺いて居りました。そこに私共の文化植民地の立脚點がある譯であります。

私共は如上の理由から土地の撰定に付いては随分苦心致しました。三回に亘るパラナ州及びソロカバナ沿線視察の結果、漸くバラガス驛を去る十二キロ、ベツシ河の上流には理想に近い土地を發見したのであります。

土地は高さに於てノロエステ沿線の同胞居住地より平均一〇〇メートルス(パラナ州もジャカレジンニヨを除くチバチ地帯は大約ノロエステと大差なし)高く、緯度に於てパラナ州及びノロエステの中間に位し、アグドス、リオクラ等と比し。若し夫れ地味に至つては所謂マサペブレトにして、パウダアリヨ樹山頂迄繁茂し、たまたまペロバ地帯に逢着すれば、林空天を蔽ひ、所々バルミットを點綴し、其豊饒肥沃、恐らくマサペ土質の最上に屬し、決してパラナ州のロツシヤ地帯に劣るものではありませぬ。これは私共のひそかに誇りとする所であります。

同胞諸君よ、希くは私共の志のある所を察し、共に携えて文化植民地の建設に努力し此の新たなる試みをして更に意義あるものたらしめんことを。

大正十四年十月

山田登幸  
鈴木貞次郎

文化植民地契約及び土地價格等は左記の所へ御申込あれば早速貴意に應じます。

T. YAMADA

Rua Humberto Primo No. 3 S. PAULO

T. SUZUKI

Estação de Promissão, L. NOROESTE

又

Caixa Postal, 25, Estação de Paraguaçu, L. SOROCABANA

文化植民地宛せられたし。